

第649回

I B C 番組審議会 議事録

— 議 題 —

「不屈のサンテツ走る！台風19号被害からの復活」

2020年4月16日（木）～20日（月）

（株）I B C 岩手放送

第649回IBC番組審議会

1. 開催日時 2020年4月16日(木)～20日(月)
2. 開催場所 書面開催
3. 委員の出席
- | | |
|---------|--------------|
| 委員総数 | 10名 |
| 出席委員 | 10名 |
| 出席委員の氏名 | |
| 委員長 | 田代 高章 |
| 副委員長 | 熊谷 志衣子 |
| 委員 | 畠山 俊彰 佐藤 求 |
| | 星 伸寿 藤野 静枝 |
| | 龍澤 尚孝 澤口 たまみ |
| | 菅原 和彦 小松 務 |
- 会社側出席者
- | | |
|-------|--------------|
| 鎌田 英樹 | 代表取締役社長 |
| 黒澤 秀之 | 取締役営業本部長 |
| 眞下 卓也 | 取締役メディア放送本部長 |
| 若槻 修 | 報道局長 |
| 佐藤 将幸 | ディレクター |
- 事務局
- | | |
|-------|-----------|
| 平澤 泰志 | 番組審議会事務局長 |
| 向井田真衣 | 事務局員 |
4. 議題 「不屈のサンテツ走る！台風19号被害からの復活」
2020年3月20日(金)午後4時50分～5時50分放送

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

○当日は強風で運行に多大な影響が出た。生放送という難しさがある中、よくまとまっていた。沿線住民が運行再開をいかに待ちわびていたのか、その喜びがよく表現できていた。

○強風にかかわらず、大漁旗を持って待機していた沿道の人たちの姿には頭が下がる。逆にそんな悪条件だったからこそ、かえって人々の「三鉄愛」が伝わった。

鯨と海の科学館館長の「私たちにとっては人や物を運ぶだけでなく、夢や目標に向かって少しでも運んでくれる存在」のコメントは、三鉄に託された役割を言い表している。1部区間が復旧した際、車両の座席が高校生で埋まったシーンを見て、通学の足としての必要性を強く認識した。

○今後の課題として、美しい三陸の景色と三鉄の、無限大の魅力を国内外に伝えることが重要だと感じる。地区住民の生の声をもっと聞きたいと思った。

○番組後半で観光、未来をテーマに取り上げたが、内容が一般的で、わくわく感、気づきのある情報が少なかったと感じる。もっと掘り下げてほしかった。

○被災から短期間での復旧は三鉄、JR、国、県の力によってスピードアップされたものと感動しているが、開通までのご苦労された方、工事された方々の様子を知りたいと思い、そこに物足りなさを感じた。

○三陸地域のみならずコロナ禍で経済的危機に立たされている事業者もあり、お互いに地域の物産を買い支えて生き残りの道を探ることが重要となっており、テイクアウトによるグルメ情報など、コロナ対策をしつつ消費の落ち込みを防ぐような話題をたくさん紹介していただきたい。

○今回の番組のように地域の今、地域の声を伝える番組、特に生放送は貴重であり、今後も局として、このような番組は続けてほしい。